

茄子 アンダルシアの夏 (2003)

メディア 映画 アニメ

ジャンル ドラマ スポーツ 青春

製作国 日本

色彩 Color

時間 47分

初公開日 2003/07/26

公開情報 アスミック・エース

【キャッチコピー】

遠くへ行きたい。

【解説】

ヨーロッパではサッカー、F1と並ぶ人気を誇る自転車レース。なかでもおよそ3週間かけてそれぞれの国を一周するフランスの“ツール・ド・フランス”、イタリアの“ジロ・デ・イタリア”、スペインの“ブエルタ・ア・エスパーニャ”はグラン・ツールと呼ばれ最も権威あるレースとして人々に愛されている。本作はそんな三大自転車レースのひとつ“ブエルタ・ア・エスパーニャ”を題材にした黒田硫黄の連載漫画『茄子』の一編『アンダルシアの夏』を完全映像化したロードレースファン必見の本格自転車アニメーション。監督はこれまで多くのジブリ作品にかかわり「千と千尋の神隠し」などで作画監督を務めた新鋭・高坂希太郎。自身も本格的な自転車乗りというだけあって、リアルで臨場感溢れるレースシーンが展開するほか、自転車ファンを喜ばせる遊び心が随所にちりばめられている。実況解説者役として、実際に現役時代世界の第一線で活躍した日本自転車ロード界の第一人者市川雅敏氏を起用するほどのこだわりを見せている。日本のアニメとして初めてカンヌ国際映画祭「監督週間」に正式出品されたことでも話題に。

空は雲一つなく、灼熱の太陽が容赦なく照りつけるスペイン・アンダルシア地方。そこでは現在、世界3大自転車レースの1つ“ブエルタ・ア・エスパーニャ”が行われていた。今日は総合争いを左右する重要な山岳ステージを明日に控えた平坦ステージ。総合優勝を狙うチームは明日に備えて体力を温存しようとする中、ペペが所属するチーム・パオパオビルは撤退をほのめかすスポンサーにアピールするためこのステージで大きな勝負に打って出る。監督の指示の下、ペペはエースを引き連れ突然集団から飛び出すと追走する8人とともに10人の逃げの集団を形成する。そのまま後続との差を広げるため先頭に立って懸命にペダルを踏み続けるペペ。ところがその最中、ペペの無線には監督にペペの解雇を告げるスポンサー幹部の声が。やがてレースは彼が生まれ育った村にさしかかった。その頃、村の教会ではペペの兄アンヘルとペペの幼なじみでもあるカルメンの結婚式が行われていた…。

【クレジット】

監督	高坂希太郎
アニメーション制作	マッドハウス
エグゼクティブプロデューサー	椎名保
プロデューサー	丸山正雄

原作	黒田硫黄
----	------

『茄子』（月刊アフタヌーンKC講談社刊）

脚本	高坂希太郎
----	-------

撮影監督	白井久男
------	------

岸克芳

美術監督	田中直哉
------	------

編集	瀬山武司	
音響監督	三間雅文	
音楽	本多俊之	
エンディングテーマ	忌野清志郎	『自転車ショー歌』
効果	倉橋静男	
声の出演	大泉洋	ペペ・ベネンヘリ
	笈利夫	アンヘル・ベネンヘリ
	小池栄子	カルメン・バスカルドミンゲス
	平野稔	エルナンデス
	緒方愛香	リベラおじさん
	平田広明	フランキー
	坂口芳貞	監督
	羽鳥慎一	実況アナウンサー
	市川雅敏	解説者